

第4号議案

OAシステム開発の契約変更に関する覚書締結について (案)

OAシステムの認証機能については現在構築作業を行っており、2016年3月より本番環境の運用を開始する予定である。OAシステムの設計において、別紙1のとおりシステム仕様の一部変更が発生したことから、富士通株式会社との間で締結したソフトウェア開発および工事契約について別紙2のとおり変更覚書を締結したい。

1. 契約の変更覚書
別紙2のとおり

2. 契約先
富士通株式会社

3. その他
「会計・調達業務の細則に関する規程」第23条（契約の公表）に基づき、契約締結後、契約相手方、契約締結日及び契約金額等の契約の概要を公表する。

以上

【添付資料】

別紙1：OAシステム開発の契約変更について

別紙2：ソフトウェア開発および工事契約に関する変更覚書2（案）

OAシステム開発の契約変更について

2015年10月7日

電力広域的運営推進機関

これまでの経緯と開発状況について

2

- OAシステム開発・導入については以下の契約経緯
 - 当初契約（平成26年9月26日 準備組合第11回総会）
 - 第1回契約変更（平成26年12月25日 準備組合第14回総会）
 - 第2回契約変更（平成27年5月13日 第8回理事会）

- 開発・導入の進捗状況
 - 本番環境のOA機能は平成27年3月31日納品、4月1日運用開始
 - 現在、バックアップ環境および認証機能の設計を完了し、2業務システムとの連携テスト実施中
 - 今後、11月から先行事業者連携テスト、1月から希望事業者連携テスト、3月から順次運用開始、3月31日納品
※2業務システムとは、広域機関システムとスイッチング支援システムを指す

- 今年度の開発・導入工程の中でシステム仕様の変更および連携テスト先の拡大が生じたため、これらを反映した金額の契約変更を行いたい
※契約形態、期間、契約条項の変更およびリース契約の変更は無し

- バックアップ環境および認証機能の開発の中で見直しが必要となった内容は以下の通り

項番	項目	変更内容
1	業務系認証機能のセキュリティ強化に伴う変更	①当初、画面のみ認証しAPIは認証しない方式から、APIも認証する方式に変更 ②当初、クライアント証明書での認証方式から、サーバ証明書およびクライアント証明書の2重での認証方式に変更、さらに2業務システムでも認証するため証明書内容を連携
2	広域機関システムおよび送配電事業者の詳細サーバ構成確定に伴う変更	③制度設計の決定により、広域機関システムの系統情報公開は認証しない方式に変更 ④広域機関システムの計画受付機能のサーバ構成確定による連携サーバ数の増加 ⑤送配電事業者側の連携テスト環境に対応した環境追加 ⑥広域機関システムの検証環境を4月以降も事業者に公開することによる連携先拡大
3	社外連携テスト要望への対応	⑦小売事業者連携テスト拡大：当初3社→変更後30社 ⑧送配電事業者連携テスト拡大：当初2社→変更後10社
4	全体バックアップ環境への切替テストの追加	⑨当初、個別な切替テストのみ計画していたが、2業務システムが運用開始する前しか、本格的な切替テストが実施できないため12月に合同実施を追加